

7月29日～ 北アルプス 表銀座

木元 隆司

山名	北アルプス 表銀座 (燕岳～槍ヶ岳)		山行名	例会		
ルート	中房・燕岳登山口→燕山荘→大天井ヒュッテ→槍ヶ岳山荘→上高地					
山行日	2022年7月29日(金)～8月2日(火)		天候	晴れ/曇り/雨		
参加者	リーダー：木田 (男性) 木田 サブリーダー：木元 木元 土岐 (女性) 吉澤 合計 4名					
ルート概略図 	コースタイム					
	地名		時：分	地名		時：分
	(7/30)			(8/1)		
	燕岳登山口	発	6:40	大天井ヒュッテ	発	6:05
	燕山荘	着	11:15	槍ヶ岳山荘	着	12:40
	(7/31)			槍ヶ岳		
	燕山荘	発	5:40	槍ヶ岳山荘	着	14:20
	燕岳	着	6:10	(8/2)		
	燕山荘	着	6:40	槍ヶ岳山荘	発	7:10
	大天井岳	着	10:10	上高地	着	14:10
大天井ヒュッテ	着	11:30	京都駅	着	20:45	
<p>当初7/31はヒュッテ西岳に宿泊予定でしたが、雪で壊れた小屋の修理のため休業とのことで、距離のバランスが少し悪くなるが大天井ヒュッテに変更。さらに燕山荘のスタッフがコロナ陽性となり一時休業となったが、なんとか宿泊の2日前から営業再開と多難なスタート。</p> <p>7/29安曇野にて前泊。7/30、燕岳登山口より急登を登る。ザックの重さがずっしりと肩にかかる。これで北アルプス三大急登と呼ばれる合戦尾根を登れるかと心配になる。暑さと荷物の重さで体力を消耗する。合戦小屋の手前でKさんが両脚をつるというアクシデント発生。強力なTさんが荷物を持って、なんとか燕山荘に到着。脚は回復したように見えたが、翌日からの難コースを考えると下山した方がよいと判断により、残念だが翌朝下山することに決定。昼頃から時々雨。夜中は豪雨。</p> <p>7/31晴れ、Kさんが先に下山。後から、現山友会健脚トップ3に入るであろうTさんとYさんがKさんの荷物を持って追いかけて下山。二人はKさんを送った後、再び燕山荘に戻り大天井ヒュッテに向かう。残った私は、ゆっくり大天井岳経由で大天井ヒュッテに向かう。燕山荘から大天井岳に向かう登山道を、遠くにそびえる槍ヶ岳を目指して、雄大な北アルプスの景観を眺めながら歩く。大天井岳付近は予想以上にハード。昼頃大天井ヒュッテに到着。その後16時頃、無事三人合流。二人ともさすがです。</p> <p>8/1、槍ヶ岳に向かう。この日も夜間は雨だったが、朝にはあがっておりラッキーだった。長いはしごやガレ場、急登が続く。3日目でもあり疲れが出てくる。東鎌尾根を槍ヶ岳目指して進む。ガレ場が歩きにくい。かつ、高山のためすぐ息が上がる。しかし、槍ヶ岳が目の前に迫ってくると、やっぱり迫力がある。槍ヶ岳山荘に到着後、荷物を置いて槍ヶ岳に登る。残念ながらガスって何も見えない。それでも槍の穂先(3,180m)に立ったという達成感を得る。私は、槍ヶ岳は2回目だが、やっぱり槍はいい！！</p> <p>8/2、晴れてはいるが夜中からビュービューと強風。若い二人が再度槍ヶ岳に登った後、長い長い下りに入る。先頭に行くYさんは下山者を次々と追い抜き、弾丸のように下りていく。バスの時間もあるし、風呂にも入りたいので、無理をしない程度に頑張っ付けていく。両足の指の痛みがひどくなってきた頃、ようやく上高地に到着。上高地キャンプセンターの風呂に入る。4日振りの風呂は何とも気持ちいい。やっぱり縦走の後の風呂は必須と感じる。</p> <p>今回、いろいろアクシデントがあり、臨機応変な対応力の必要性を感じた。また、荷物の軽量化が課題と痛感。予想以上に厳しいコースでしたが十分楽しみました。皆さんに感謝です。</p>						
ヒヤリハット：両脚攣りで途中下山1名。						



合戦小屋



合戦小屋名物 スイカ



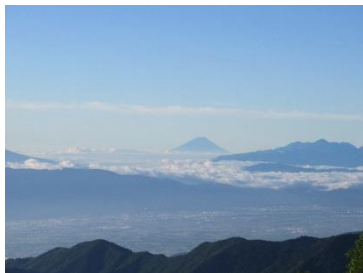
コマクサ



燕山荘と燕岳



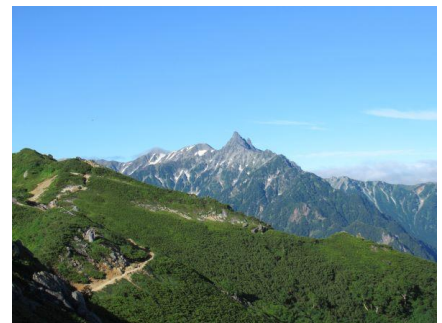
燕山荘から見たご来光



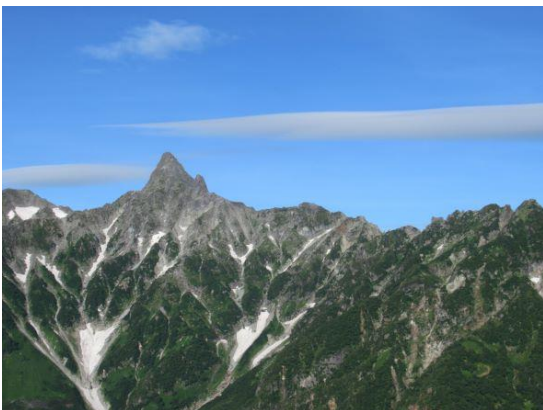
遠くに富士山



イルカ岩と遠くの槍ヶ岳



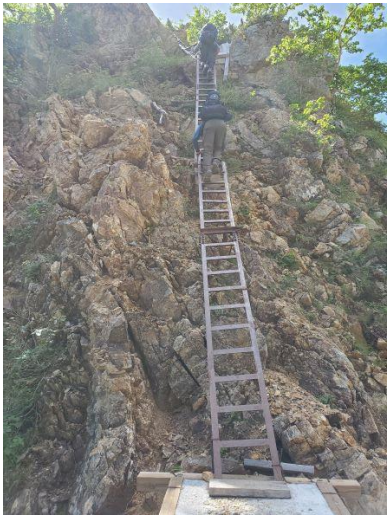
槍を目指して稜線歩き



槍ヶ岳がだんだんに大きくなってくる



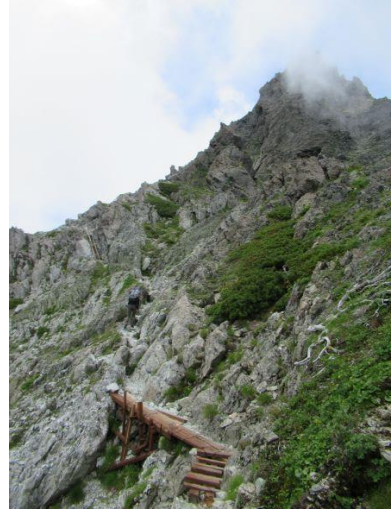
東鎌尾根を槍ヶ岳へ



3段ハシゴ



岩場を登ります



槍ヶ岳が迫ってきます



槍ヶ岳山荘から見た槍ヶ岳



槍ヶ岳山頂



槍の穂先 周りは真っ白だが証拠写真を撮る



槍ヶ岳とご来光



下山中、振り返ると槍ヶ岳

感想文

吉澤 珠美

以前燕岳に日帰りで行った時は中房温泉から山頂までピストンで、忙しく下山しました。その時から槍ヶ岳まで続くこの道をいつか歩いてみたいと思っていました。日曜日なのに燕岳から大天井ヒュッテまであまり人に会わず壮大な景色を独り占めです。槍ヶ岳の孤高な姿を何度も写真に撮り、目の前で戯れる雷鳥親子にも会えて極上な時間を過ごせました。同行してくれた皆さまに感謝致します。

木田 修司

表銀座は若いころから意識していたコースであり、自ら計画して3月号の「かんなび」掲載、訓練登山に武奈ヶ岳、八経ヶ岳、2度目の武奈ヶ岳と荷重も増やして実施した。現地への交通手配、山小屋の確保等諸準備を重ね本番に向け万全の準備をしてきたつもりであった。ところが何としたことか、本番では登山口を出発してたった2時間程で、両足の下腿部上腿部が攣り硬直して膝関節も曲がらない状態が続いた。ここまでの攣りは初めての経験である。幸い同行者の山友会屈指の強力Tさんに燕山荘まで荷物を運び上げてもらえたので、空荷で無事に燕山荘までたどり着くことができた。翌日からの行動は歩行困難になった場合の対応方法がないこと、帰路のバス発車時間を考えた槍ヶ岳山荘から上高地までの歩行時間などを考慮してやむなく下山することにした。CLの責任を果たせず逆に下山の補助までしてもらった事態を招き大いに反省をし、今後の山行に生かしていきたいと思っています。

土岐 吉正

時間を十分にとった山行でしたがそれはそれで荷物が多くなり少し不安でした。あとは天候が心配でしたが2日目以外は天候もよく午前中は晴れ、夕方から夜中にかけて雨が降り朝には止み、最終日は晴天。しかし関西の山々と違い標高が高く、滑落のある山道もあり、体力と集中力が改めて必要だと感じました。その代償として空と山々のパノラマや朝日や夕日の寛大さ、まさに関西で見られない景色が広がり感度と達成感を与えてくれます。運が良ければ目の前に人を気にせずに山道にいる雷鳥の親子に会えるかもしれません。行けるなら是非アルプスに一度は行ってほしいと思います。いろいろあった山行ですが無理をせず決断をした結果ですからそれはよかったと思います。山は逃げません。いつでもリベンジはできます。目標をもち頑張りましょう。木元さん、吉澤さん、お疲れ様でした。